

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|----|-------------|
| ○事業所名 | こころみの会 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年5月10日 | | ～ 令和7年5月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 7人 | (回答者数) 7人 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年5月10日 | | ～ 令和7年5月17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3人 | (回答者数) 3人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年5月31日 | | |
| ○ホームページ公表日 | R7年6月10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | スタッフが常に子供たちの心に寄り添いながら、やさしさとあたたかさをもって対応しているところ。 | スタッフはできる限り否定的な言葉を使わず、本人の気持ちを受け入れながらかつどうしている。 | こどもたちのやってみようの気持ちを受け入れることができるように環境や補助具を整える。 |
| 2 | 自然の中でおもいっきり、普段できないようなことに挑戦できること。 | こどもたちの可能性を引き出すために、プール・調理・川遊び・畑体験・自然の中を散策・火起こし等に挑戦している。 | 同じ体験を繰り返すことや、本人たちが考えて選択できる活動を増やして行く。こどもたちの成長につながるプログラムを構築すること。 |
| 3 | 法人の理念である「共に」を中心にし、みんなで一緒に活動することで、互いを認め合うところが芽生えていること。 | こどもたちの気持ちを尊重している。また無理のないように心の動きに注意を払いながら対応している。 | 日頃から社会のルールや習慣などを繰り返し学んでいながら、こどもたちの一人ひとりの成長にあわせた細やかな対応。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | スタッフの不足。 | 募集活動ができていないこと。 | 学校・相談支援員等と連携した新たな利用児のこどもを獲得すること。 |
| 2 | 事業や活動内容などのPR不足。 | 今までの活動やイベント、地域交流等の情報が広く外部への周知が足りなかったこと。 | ホームページの更新の頻度をあげることにより、外部からの信用を得ること。 |
| 3 | 施設内の活動用スペースや備品などの環境整備が不十分だった。 | 施設内の整備と活動場所の確保が出来ていなかったこと。 | 施設内を整備し活動スペースを広げ、必要な補助具を整備すること。 |